

SDGs オンライン授業@Zoom から

私たちの「望む未来」から考える世羅町の課題@広島・世羅町立世羅中学校



(撮影：波間陽子教諭、栗田悠也教諭)

世羅町立世羅中学校の3年生（59人）と1年生（63人）が2022年5月31日、SDGsの視点を導入した新聞活用授業をオンライン（Zoom）で体験しました。（3・4、5・6校時、各2クラス）

「世羅町の課題を克服し世羅の魅力を世界に広める」をテーマに探究活動をするための導入授業として、情報収集のポイントを学んでもらったほか、付箋を使って思考を見える化してグループごとに焦点を絞るワークショップを実施しました。

情報収集では「新聞づくり」を例に、記事を書くためのプロセスや、取材（材料集め）のポイントなどに耳を傾けてもらいました。

「そのままコピペしてくる」、「正しいかどうか調べずに引用する」など、先生方から相談をうけるネット検索については、新聞の活用をオススメしました。ネット検索は「検索語」が大切です。その「検索語」がなかったり、適切でなかったりすると目的のものを探し出せませんし、データの海におぼれてしまいます。

そこで新聞の出番です！ なぜなら、新聞には検索する際、入力するのに適した言葉が多数掲載されているからです。

さらに！

- 取材した企業や研究機関名
- 大学名、研究者や学者名
- H P の URL、参考になる書籍名

などなど、新聞を活用することで、自分の知識だけでネット検索するより、より正確でスピーディーに目的に近づくことが可能になります。

SDGs の視点を採り入れたワークショップでは、3 年生は「2030 年以降の望む未来」を付箋を使ってグループで共有し、「自然や環境」「経済」「社会」「政治」の 4 つのカテゴリーにその付箋を分けて対話しました。世羅町の課題と私たちの望む未来がどのようなプロセスでつながっていくのか、生徒たちのまとめが楽しみです。

1 年生は、グループごとのテーマを「わたし」→「私たち」と視点を变えてグループ対話しました。模造紙に貼られたたくさんの付箋を見ながら活発な意見交換が行われていることが写真からも分かります。

お寄せいただいた生徒さんたちと先生のご感想もご覧ください。

(遊佐美恵子)

<実施教科／学年>

総合的な学習の時間 中 1・中 3

<生徒さんたちの感想>

- ・すごく勉強になり、知らなかったことを知ることができ、レベルアップしたと思います。これからもがんばります。
- ・講義のあとに、自分たちのテーマに沿って問題点、調査方法について付箋と模造紙を使ってグループごとにワークショップを行いました。今まで調べたことを踏まえて、積極的に意見交換をすることができました。
- ・写真のアップとルーズの事例からは、同じテーマであっても写真をどのように撮影するかによって、読み手の印象が変わってくるということが分かりました。

<実践して感じたこと> (教諭 宮岡愛)

総合的な学習の時間を進めていくうちに「どのように情報を収集するのがよいか」、またその情報を「どのように整理・分析したらよいか」について悩むようになりました。そんなことを打ちあわせ時に相談すると、私たち教員の思いも汲んでくださりながら、今回のオンライン授業を実践してくださいました。

新聞を読んでキーワードに線を引いていくワークでは、新聞を効果的に活用しながら効率的に情報を収集する方法を学ぶことができました。付箋を使って発想を広げていくワークでは、付箋を貼る際に「自然や環境」「経済」「社会」「政治」などに分類することで、思考を可視化し整理することができました。また、同じテーマであっても、様々な見方・考え方ができることを体験的に学ぶことができたと思います。